

富山県の障害者の現状について

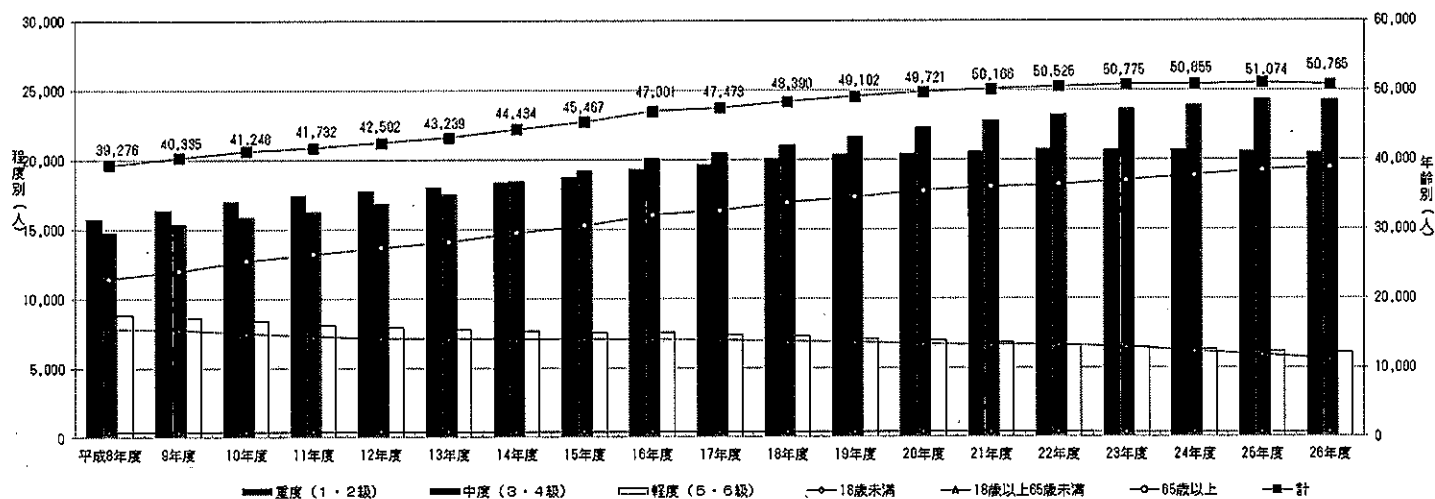
(1) 身体障害者

身体障害者手帳を所持している人は、平成27年3月31日現在、50,785人となっており、平成8年度からの18年間で、11,509人(29%)増加しています。

障害の程度別では、重度、中度、軽度の人の占める割合がそれぞれ平成8年度の40.0%、37.5%、22.5%に対し、平成26年度には40.3%、47.7%、12.0%となっており、障害の重度化の傾向がみられます。

また、年齢階層別では、65歳以上の人の占める割合が平成8年度の58.3%に対し、平成26年度には、76.6%となっています。平成8年度からの18年間では16,007人(70%)増加しており、高齢化が進んでいます。

身体障害者手帳所持者数の推移



身体障害者手帳所持者数の推移

(単位:人)

区分	平成8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
程度別																			
重度(1・2級)	15,734	16,358	16,978	17,398	17,738	17,968	18,376	18,715	19,318	19,610	20,041	20,375	20,419	20,561	20,704	20,681	20,691	20,592	20,458
中度(3・4級)	14,719	15,369	16,848	16,261	16,839	17,514	18,393	19,221	20,102	20,443	21,060	21,624	22,328	22,786	23,210	23,620	23,861	24,325	24,234
軽度(5・6級)	8,823	8,608	8,422	8,073	7,927	7,759	7,665	7,531	7,581	7,420	7,289	7,103	6,978	6,819	6,611	6,474	6,303	6,157	6,093
年齢別																			
18歳未満	750	765	784	801	800	794	781	797	800	769	764	761	752	740	745	730	716	712	695
18歳以上65歳未満	15,618	15,578	14,985	14,542	14,318	14,245	14,163	14,173	14,170	14,011	13,812	13,713	13,451	13,298	13,366	13,059	12,377	11,866	11,175
65歳以上	22,908	23,992	25,479	26,389	27,384	28,200	29,490	30,497	32,031	32,693	33,814	34,628	35,518	36,128	36,415	36,986	37,762	38,486	38,915
計	39,276	40,335	41,248	41,732	42,502	43,239	44,434	45,467	47,001	47,473	48,390	49,102	49,721	50,166	50,525	50,775	50,855	51,074	50,785

(各年度3月31日現在)

平成26年度障害別・等級別の状況

(単位:人)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
視覚障害	982	778	221	249	392	291	2,913
聴覚障害	267	995	551	835	8	1,959	4,615
平衡機能障害	1	8	32	0	26	0	67
音声・言語・そしゃく機能障	9	17	226	209	0	0	461
肢体不自由	4,501	5,209	5,788	7,922	2,246	1,171	26,837
内部障害	7,398	293	4,912	3,289	0	0	15,892
計	13,158	7,300	11,730	12,504	2,672	3,421	50,785

(平成27年3月31日現在)

(2) 知的障害者

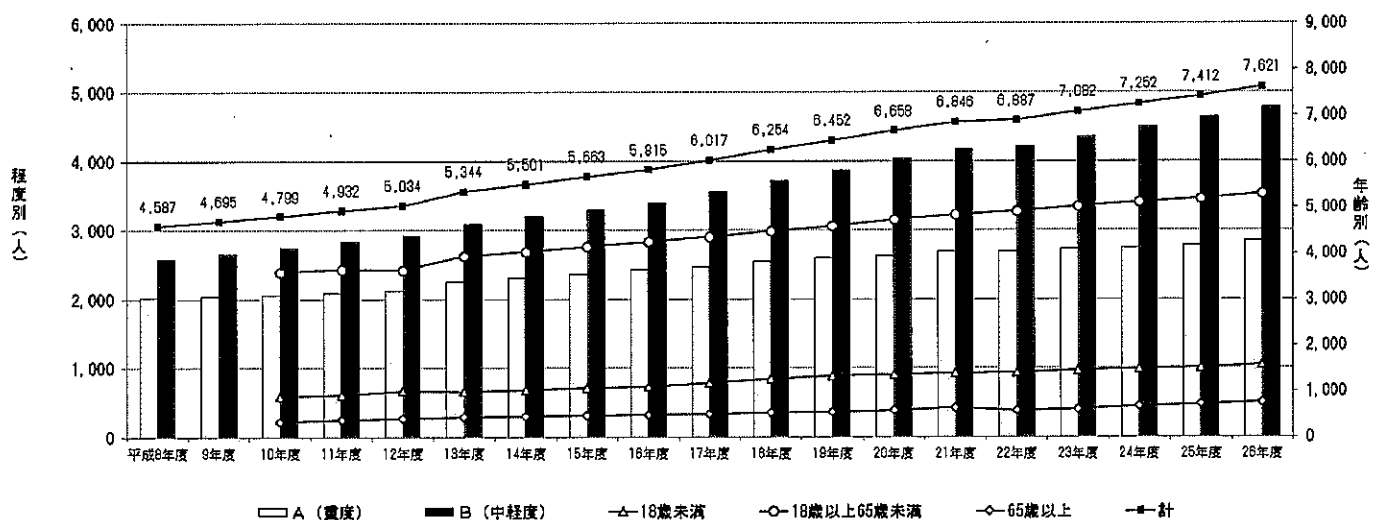
療育手帳を所持している人は、平成27年3月31日現在、7,621人となっており、平成8年度からの18年間で、3,034人(66.1%)増加しています。

障害の程度別では、重度、中軽度の人々の占める割合がそれぞれ平成8年度の44.0%、56.0%に対し、平成26年度は37.4%、62.6%となっており、近年では中軽度の増え方が大きくなっています。

また、年齢階層別では、65歳以上の人々の占める割合は10.0%となっており、比較可能な平成10年度からの16年間では428人(128.9%)増加しています。

なお、知的障害者実態調査(療育手帳を所持していない人を含む5年毎の調査)によれば、知的障害者の総数は、平成22年7月1日現在、6,885人となっており、また、居所の状況は、自宅(施設・事業所の通所を含む)が4,555人(66.2%)で最も多く、次いで入所施設が1,625人(23.6%)、グループホーム・住込・寮等が271人(4.0%)、精神科病院入院が251人(3.6%)などとなっています。

療育手帳所持者数の推移

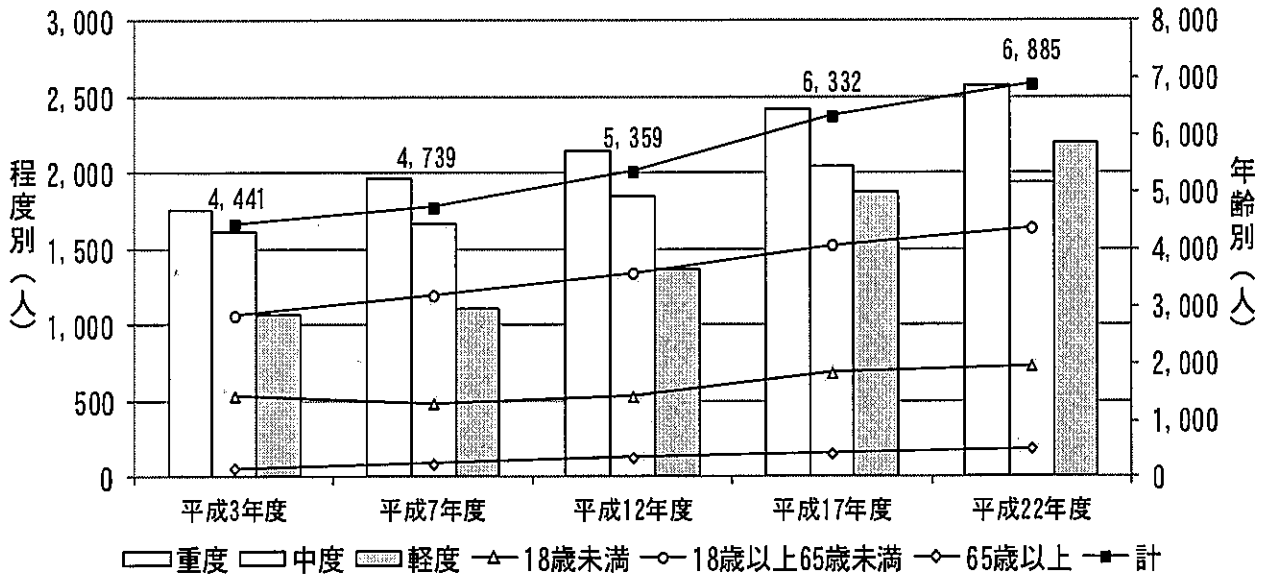


療育手帳所持者数の推移

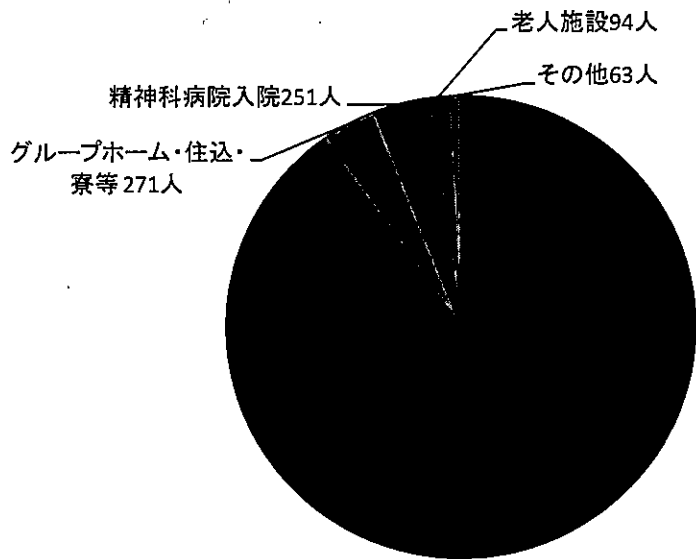
区分		平成8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
程度別	A(重度)	2,017	2,042	2,054	2,093	2,115	2,256	2,306	2,368	2,423	2,466	2,550	2,593	2,625	2,679	2,680	2,724	2,749	2,775	2,847
	B(中軽度)	2,570	2,653	2,746	2,839	2,919	3,088	3,195	3,295	3,392	3,551	3,704	3,859	4,033	4,167	4,207	4,358	4,503	4,637	4,774
年齢別	18歳未満			883	907	999	980	1,024	1,087	1,095	1,169	1,258	1,320	1,359	1,388	1,405	1,454	1,478	1,510	1,569
	18歳以上65歳未満			3,584	3,653	3,639	3,935	4,033	4,139	4,244	4,349	4,476	4,586	4,720	4,832	4,912	5,022	5,111	5,192	5,292
	65歳以上			332	372	396	429	444	457	476	499	520	546	579	626	570	606	663	710	760
計		4,587	4,695	4,799	4,932	5,034	5,344	5,501	5,815	6,017	6,254	6,452	6,658	6,846	6,887	7,082	7,252	7,412	7,621	

(各年度3月31日現在)

知的障害者総数の推移（知的障害者実態調査）



居住の状況（平成22年度知的障害者実態調査）

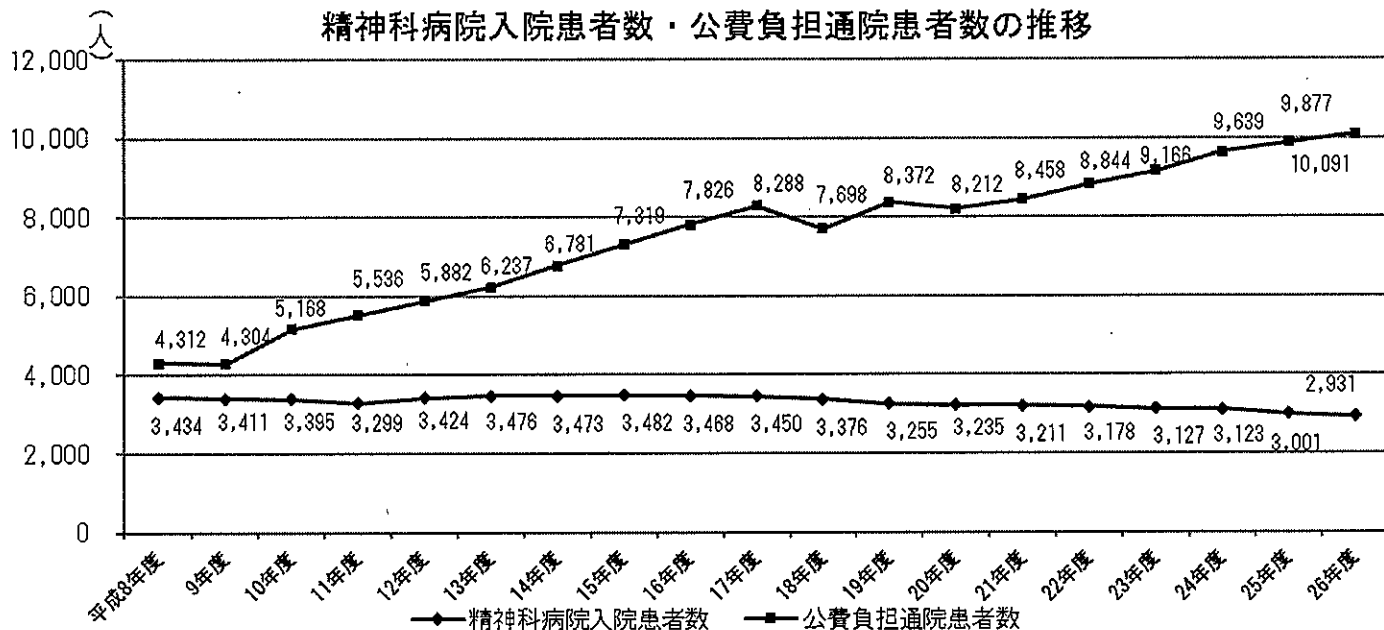


（平成22年7月1日現在）

(3) 精神障害者

精神障害者については、医療機関の利用状況からみると、平成26年6月30日現在、入院患者数が2,931人、医療費を公費で負担している通院患者数が10,091人となっています。

入院患者数は、平成8年度の3,434人から平成26年度の2,931人と減少しているのに対し、公費負担通院患者数は平成8年度の4,312人から平成26年度の10,091人と大きく増加しています。



精神科病院入院患者数・公費負担通院患者数の推移

(単位:人)

区分	平成8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
精神科病院入院患者数	3,434	3,411	3,395	3,299	3,424	3,476	3,473	3,482	3,468	3,450	3,376	3,255	3,235	3,211	3,178	3,127	3,123	3,001	2,931
公費負担通院患者数	4,312	4,304	5,168	5,536	5,882	6,237	6,781	7,319	7,826	8,288	7,698	8,372	8,212	8,458	8,844	9,166	9,639	9,877	10,091

(各年度6月30日現在)

精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移

(単位:人)

区分	平成8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
1級	213	244	281	290	294	312	335	376	400	390	397	359	366	386	394	443	434	447	457
2級	307	374	463	582	736	834	999	1,158	1,302	1,559	1,645	1,834	2,163	2,422	2,717	3,028	3,215	3,407	3,635
3級	125	153	186	217	225	249	317	381	451	516	519	528	573	623	672	750	879	1,034	1,200
計	645	771	930	1,089	1,255	1,395	1,651	1,915	2,153	2,465	2,561	2,721	3,102	3,431	3,783	4,221	4,528	4,888	5,292

(各年度3月31日現在)

(4) 発達障害

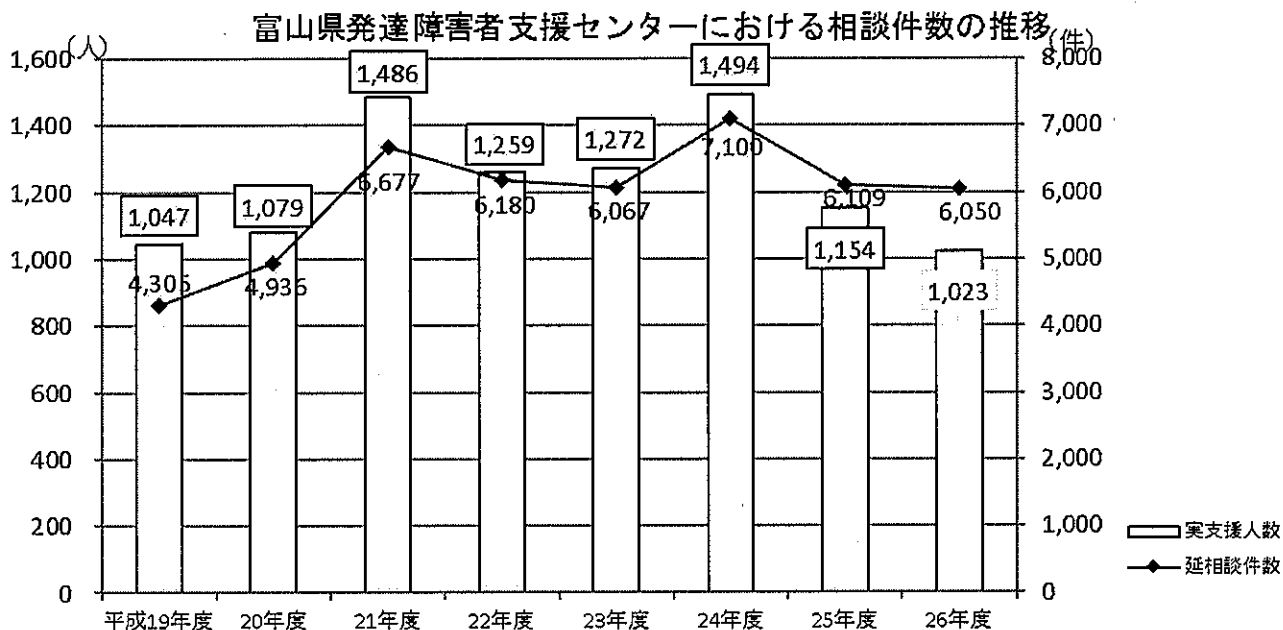
発達障害児（者）数については、知的障害や精神障害の手帳を所持している人もいますが、発達障害であることに着目して手帳の対象となっているわけではないため、その正確な人数は把握できていません。

文部科学省が平成24年度に報告した調査結果（「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果」）によると、全国の公立小中学校の通常学級に在籍する児童生徒のうち、学習や生活の面で特別な教育的支援を必要とする児童生徒は、約6.5%程度であるとされています。

本県において、平成24年度に市町村が実施した1歳6か月児健診又は3歳児健診を受診した乳幼児のうち、言語や行動等の面で経過を見る必要があるとされた児童は2,666名であり、総受診者数の約16.4%となっています。

また、県が実施した保育所や幼稚園を対象としたアンケート調査では、平成24年10月1日現在で在籍している児童のうち、①発達障害の診断を受けている児童や、②多動で落ち着きがないなどの行動が顕著だと保育士等が感じている児童は合わせて3,005名であり、在籍児童数の約8.9%となっています。

本県では、発達障害者等に対し相談等の支援を行う発達障害者支援センターを設置しており、平成26年度の実支援人数は1,023人であり、延相談件数は6,050件となっています。



富山県発達障害者支援センターにおける相談件数の推移

事業内容	平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	実支援人数	延相談件数	実支援人数	延相談件数	実支援人数	延相談件数	実支援人数	延相談件数	実支援人数	延相談件数	実支援人数	延相談件数	実支援人数	延相談件数	実支援人数	延相談件数
就労支援	53	857	55	1,024	62	909	45	425	47	419	48	1,016	40	224	72	306
相談支援	702	3,216	728	3,742	1,165	5,521	1,049	5,500	1,059	5,457	1,246	5,860				
発達支援	292	232	296	170	259	247	165	255	166	191	200	224	1,114	5,885	951	5,744
計	1,047	4,305	1,079	4,936	1,486	6,677	1,259	6,180	1,272	6,067	1,494	7,100	1,154	6,109	1,023	6,050

(各年度3月31日現在)

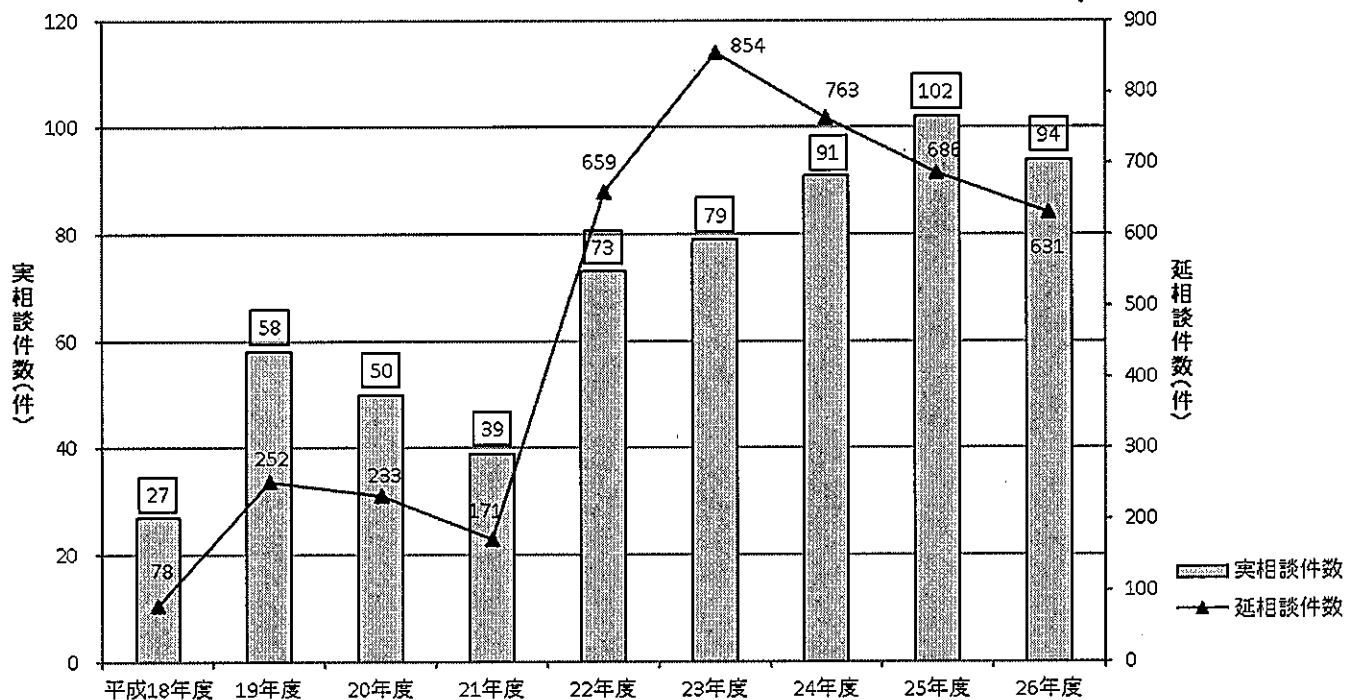
※H25年度より厚生労働省への実施状況報告の内容等が変更されたことより「①相談支援・発達支援」「②相談支援・就労支援」（就労支援に重点を置いた支援が行われたケース）の2区分により集計。

(5) 高次脳機能障害

高次脳機能障害は、交通事故や病気等で脳に障害を受けたことが原因で、注意力や記憶が低下したり、感情のコントロールが難しくなるなどの症状が現れる障害ですが、症状の内容や程度も多様であることから、正確な障害者数の把握はできていません。

本県では、障害当事者やその家族に対する専門的な支援等を目的として、富山県高次脳機能障害支援センターを設置しています。平成26年度の実相談件数は94件であり、延相談件数は631件となっています。

富山県高次脳機能障害支援センターにおける相談件数の推移



富山県高次脳機能障害支援センターにおける相談件数の推移

	平成18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
実相談件数	27	58	50	39	73	79	91	102	94
延相談件数	78	252	233	171	659	854	763	686	631

※なお、平成18年度は平成19年1月から3月までの3ヶ月間の実績

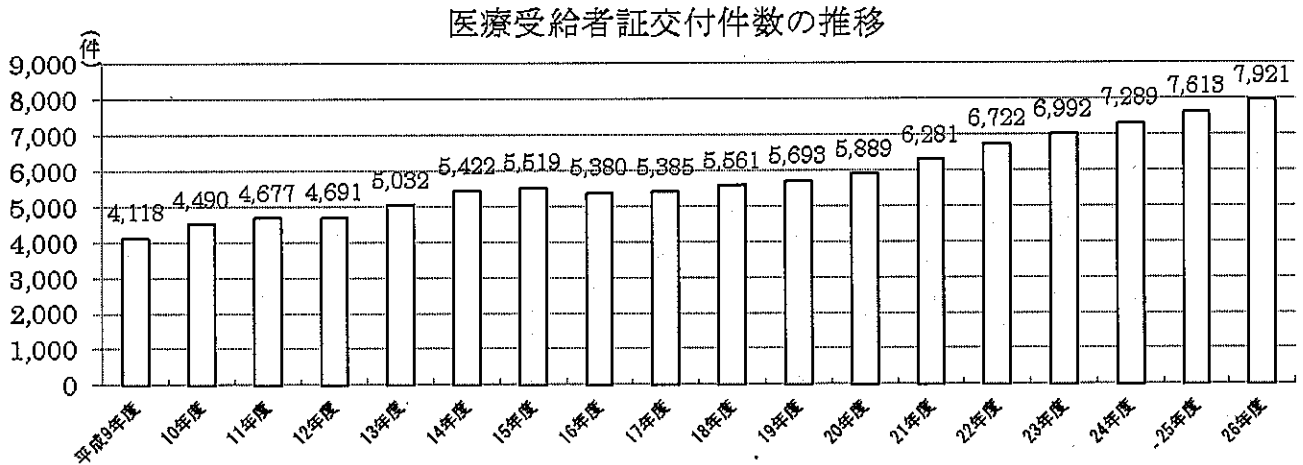
(各年度3月31日現在)

(6) 難病

平成27年1月1日に「難病の患者に対する医療等に関する法律」が施行されました。

この法律において、発病の機構が明らかでなく、かつ、治療方法が確立していない希少な疾病であって、当該疾病にかかることにより長期にわたり療養を必要とするものとなるものを難病と定義しています。そのうち、患者数が一定数を超えず、かつ客観的な診断基準が確立しているものを指定難病として定められており、その患者に対し、特定医療費の公費助成を行っています。特定医療費（指定難病）受給者証を交付している件数は、平成26年度は7,921件となっています。

平成25年4月より障害者総合支援法のサービスの対象に難病等が加わり、平成27年7月1日からは332疾患が対象となっています。



平成26年度指定難病一覧及び受給者証交付件数

番号	病名	交付件数	番号	病名	交付件数
1	球脊髄性筋萎縮症	25	57	特発性拡張型心筋症	232
2	筋萎縮性側索硬化症	94	58	肥大型心筋症	23
3	脊髄性筋萎縮症	3	59	拘束型心筋症	1
4	原発性側索硬化症	0	60	再生不良性貧血	102
5	進行性核上性麻痺	130	61	自己免疫性溶血性貧血	2
6	パーキンソン病	1,008	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2
7	大脳皮質基底核変性症	42	63	特発性血小板減少性紫斑病	178
8	ハンチントン病	9	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
9	神経有棘赤血球症	0	65	原発性免疫不全症候群	20
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	66	IgA腎症	9
11	重症筋無力症	202	67	多発性嚢胞腎	7
12	先天性筋無力症候群	0	68	黄色靱帯骨化症	73
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	194	69	後縦靱帯骨化症	436
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	41	70	広範脊柱管狭窄症	26
15	封入体筋炎	1	71	特発性大腿骨頭壊死症	66
16	クロウ・深瀬症候群	0	72	下垂体性ADH分泌異常症	18
17	多系統萎縮症	168	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	286	74	下垂体性PRL分泌亢進症	26
19	ライソゾーム病	4	75	クッシング病	3
20	副腎白質ジストロフィー	2	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	4
21	ミトコンドリア病	18	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	40
22	もやもや病	159	78	下垂体前葉機能低下症	96
23	プリオン病	3	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
24	亜急性硬化性全脳炎	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	2	82	先天性副腎低形成症	0
27	特発性基底核石灰化症	0	83	アジソン病	0
28	全身性アミロイドーシス	21	84	サルコイドーシス	216
29	ウルリツヒ病	0	85	特発性間質性肺炎	48
30	遠位型ミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	32
31	ベスレムミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
32	自己食食空胞性ミオパチー	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	29
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	89	リンパ脈管筋腫症	6
34	神経線維腫症	33	90	網膜色素変性症	214
35	天疱瘡	58	91	バッド・キアリ症候群	2
36	表皮水疱症	6	92	特発性門脈圧亢進症	1
37	膿疱性乾癬(汎発型)	18	93	原発性胆汁性肝硬変	353
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	94	原発性硬化性胆管炎	0
39	中毒性表皮壊死症	0	95	自己免疫性肝炎	6
40	高安動脈炎	53	96	クローン病	386
41	巨細胞性動脈炎	0	97	潰瘍性大腸炎	1,156
42	結節性多発動脈炎	22	98	好酸球性消化管疾患	0
43	顕微鏡的多発血管炎	61	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
44	多発血管炎性肉芽腫症	16	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	3	101	腸管神経節細胞減少症	0
46	悪性関節リウマチ	53	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
47	バージャー病	57	103	OFC症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	0	104	コステロ症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	550	105	チャージ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	199	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
51	全身性強皮症	293	107	全身型若年性特発性関節炎	1
52	混合性結合組織病	94	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
53	シェーグレン症候群	5	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	0
54	成人ステル病	13	110	ブラウ症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	4			
56	ベーチェット病	156		合計	7,921件

(平成27年3月31日現在)